

インドネシア損害保険現地法人の出資比率引き上げについて

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、当社の子会社であるTokio Marine Asia Pte. Ltd.(以下「TMA Asia 社」)を通じて出資しているインドネシアの損害保険会社であるPT Asuransi Tokio Marine Indonesia 社(以下「TMI 社」)について、合弁パートナーであるPT Asuransi Jasa Indonesia(以下「Jasindo 社」)から発行済株式20%を5,090億インドネシアルピア(約49億円)で取得し、TMI社への出資比率を60%から80%に引き上げましたのでお知らせします。

1. 出資比率引き上げについて

東京海上グループは、1973年にインドネシアの国営大手損害保険会社であるJasindo社と、日系企業に関する保険引き受けの代理店契約を締結し、代理店として損害保険市場に参入しました。その後、1975年に同社との合弁損害保険会社PT. Asuransi Jayasrayaを設立し、元受損害保険市場に参入しました。1990年には経営権を取得し、翌年社名をPT Asuransi Tokio Marine Indonesiaに変更して、インドネシア国内の拠点網を拡充しつつ、ブランドや財務の健全性を活かしながら順調な成長を遂げ、現在では保険料規模で業界第13位、税引後利益は業界でもトップクラスの水準に成長しております。

同社の順調な利益成長を受け、また今後さらに拡大することが期待されるインドネシアマーケットの成長を取り込むため、従来からJasindo社と持分割合を協議してきたところ、2022年8月に当社持ち分を外資規制の上限である80%に引き上げることに合意しました。この度、現地当局の承認を得て、TMA Asia 社がTMI社の発行済株式20%を5,090億インドネシアルピア(約49億円)で追加取得する手続きを11月23日付けで完了いたしました。

今回のTMI社出資比率引き上げは、新興市場における成長を捉え、当社グループの更なる利益成長を実現させるとともに、地域分散の効いた事業ポートフォリオを構築するという当社グループの海外事業戦略に合致するものです。

2. インドネシアの損害保険市場について

インドネシアは堅調な経済成長と世界第4位の人口を擁する、東南アジアでタイに次ぐ第2位の規模の損害保険市場であり、10年以内にタイを抜き第1位の規模に成長すると予測されています。

市場規模(2021年12月末)	78兆1,440億インドネシアルピア(約7,502億円) ※AAUI(インドネシア損保協会)統計
市場成長率(年平均成長率)	12.0% ※OJK(インドネシア金融庁)統計(2011年~2020年)
損害保険会社数	71社

3. 今後について

当社グループの保険事業に関する幅広いノウハウやリソースを、今後より一層積極的に TMI 社に投入し、お客様のニーズに合った質の高い商品・サービスを提供してまいります。

同社のさらなる利益成長を実現させることで、当社グループの海外保険事業の規模・収益の更なる拡大とインドネシア保険市場の発展に貢献してまいります。

4. TMI 社の概要について

(2021 年 12 月 31 日現在)

正式名称	PT Asuransi Tokio Marine Indonesia
本店所在地	3 rd floor of Sentral Senayan I, Jalan Asia Afrika No. 8, South Jakarta
主な事業内容	損害保険事業
設立年	1975 年
資本金	1,000 億インドネシアルピア(約 9.6 億円)
本支店数	12 支店
収入保険料	1 兆 9,678 億インドネシアルピア(約 189 億円)
税引後利益	2,243 億インドネシアルピア(約 21.5 億円)
従業員数	388 名
出資構成	TMAAsia 社 80%、Jasindo 社 20%(2022 年 11 月 23 日時点)

1 インドネシアルピア=0.0096 円で計算

以 上